令和５年度学校だより

善誘館

No. 4

甲府市立善誘館小学校　校長室

校　訓　「善行・勤勉・体育」
学校教育目標
○　思いやる心をもつ子
○　よく考え工夫する子
○　元気でたくましい子

２０２３．６．１６

☆「ありがとう」という言葉の力

６月も中旬を迎え，冷たい雨が続いたかと思うと，一転して厳しい暑さを感じる日もあります。天気が周期的に変化し，時折夏日を挟みつつ，しばらくは梅雨の季節が続きます。

コロナは５類へと移行し，現在のところは感染者が出なくなりました。一方で，５月には校内でもインフルエンザが流行するなど，別の感染症が流行しています。今後も状況を見極めつつ，教育活動を推進してまいります。引き続き御協力をお願いします。

学校での教育活動は，少しずつコロナ前に戻しています。「梅雨時集会」や「福祉講話」や「集会」等，全校児童が一堂に会することも行っていきます。この３年間は，原則としてこのような形態ではなかったので，当面の目標として，「体育館に静かに入場し，静かに他の学年を待ち静かに話を聴き，静かに退場する。」を掲げ，全校で実践していきたいと思っています。

○「ありがとう」という言葉の意味

感謝やお礼の言葉として使われる「ありがとう」という言葉があります。「ありがとう」という言葉はどのような意味があるのでしょうか。「ありがとう」は本来「有ること」が「難しい」という 意味をもっており，滅多にないことや貴重であることを指す「有り難し」という言葉が語源です。そのような出来事に対しての感謝やお礼の言葉として使われているのが「ありがとう」なのです。

○「ありがとう」のもつ力

わたくしたちは「ありがとう」という言葉を周りの人にどれだけ伝えているのでしょうか。また，この言葉にどれほどの力があるのでしょうか。「ありがとう」という言葉はとても大切な言葉として，自分も小さい頃から教えられてきましたし，御家庭での子育てにおいてもそのように教わっていると思います。 残念ながら，どれだけの効果があるのかは，数値では計れませんが，「ありがとう」という言葉は，言われた人も言った人にも良い影響があるとされています。つまり「ありがとう」という言葉のもつ力は、無限大だと思います。

○家族の中でも「ありがとう」を

家庭内では，それぞれが何らかの仕事や役割を担っています。当たり前に何かをしたり，してもらったりしています。「言わなくても，分かってくれているだろう。」という気持ちがあるのも理解できます。しかし，そこから一歩踏み出して，照れくさいかもしれませんが，「ありがとう」と言葉にするだけで，今よりはるかに良い信頼関係が生まれると思います。これだけで家事も仕事も頑張れる気がします。 「ありがとう」は人の心を動かし，人を成長させる言葉なのです。

○ご協力ありがとうございました　引き渡し訓練

６月１日には，全校引き渡し訓練に御協力いただきありがとうございました。南海トラフを震源とする，大地震の発生を想定して行われたものです。

まずは地震発生を想定して，学年ごとに第１次避難（シェイクアウト訓練）を行いました。教頭先生の「ただいま，地震が発生しました」の校内放送が流れると，子供たちはスムーズに机の下に入り込み，頭を低くしながら机の脚をしっかり持つ行動がとれていました。体が大きくなってきた５・６年生も，上手に潜り込むことができていました。校舎内

を回ってみたのですが，無駄口もほとんどなく，放送や先生の指示をしっかり聞き取ろうとする子供たちの態度は立派でした。

引き渡しについても，ご家庭の皆様に御協力いただく中で，予定通り実施することができました。

災害はいつ起こるかわかりません。もし，先生がいないときに地震が来たら…廊下を歩いているときだったら…トイレに入っていたら…登校途中だったら…下校途中だったら…。大事なことは『自分の命は，自分で守ること』。そのために，何をしなければならないのか。学校でも繰り返し指導していきますが，御家庭でも話をしていただきたいと思います。

○令和５年度の「コミュニティ・スクール」がスタートします

善誘館小学校は「学校運営協議会」を設置している「コミュニティー・スクール」に指定されています。善誘館小学校は，開校当時に『善誘館教育推進会議』が組織されたことや，登下校の見守りや読み聞かせの活動，授業へのサポート体制など地域の方々が学校に対して協力体制を整えてくれています。これらの既存の組織をもとにして，　学校・家庭・地域が協力しながら

☆子どもたちの学びや体験活動の充実

☆子どもたちの自己肯定感や他人を思い遣る心の育成　を目指していきたいと思います。

「本の読み聞かせ」「登下校の見守り」「昔の遊び体験」「町探検への協力」「野菜・花づくりの協力」「授業への補助」など，保護者や地域の皆様へ様々な形で呼びかけていくことと思います。その際には，ぜひ，御支援・御協力をお願いします。

５月２９日に第１回目の学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会の話し合いを通して「学校の願い」・「地域の願い」ともに実現されるような活動を目指していきたいと考えています。

令和５年度【学校運営協議会委員】

林　　昌明　様	会　長　前学校評議員	日向　春己　様	安全支援部長（交通安全協会）
上原絵美子　様	副会長　前学校評議員	大西　月子　様	体験活動部長（町探検支援）
中村　貴子　様	前ＰＴＡ会長	丸山　通家　様	環境整備部長（花の苗）
畑　　晴夫　様	琢美地区連合自治会会長　他	坂田　満夫　様	ＰＴＡ会長
高添　裕一　様	富士川地区連合自治会会長	原田　裕貴　様	ＰＴＡ副会長
深澤　芳次　様	琢美地区文化協会会長	久保島　修	善誘館小学校校長
立川　　茂　様	富士川地区文化協会会長	酒井　幸政	善誘館小学校教頭
赤池　保彦　様	富士川地区民生児童委員協議会会長	名取　富幸	善誘館小学校教務主任
秋山今朝江　様	学習支援部長（朝の読み聞かせ）		

よろしくお願いいたします。

学校の様子より

☆５年生，６年生 GIGA 授業

甲府市では令和３年度より GIGA スクール構想の一環として Chromebook を使った授業を行っています。本校でも Chromebook を使った授業を行っていますが，今回は５年生と６年生が甲府市教育委員会から情報化推進係の鈴木昇先生と伊藤勝彦先生を講師に招き「ジャムボード」や「スライド」の効果的な使用について学びました。

一人１台 PC の導入から３年が経ちますが，本校ではＩＣＴの効果的な活用と「見通しと」「振り返り」を意識した授業づくりを重点目標の一つとして，これからの世の中ソサエティー5.0（Society 5.0）の時代を生き抜く子供たちの為にも力をつけさせていきたいと思います。

☆たてわり活動（学級びらき）

６月７日の「ゼンユウタイム」に「たてわり活動（学級びらき）」が行われました。各たてわり班とも，６年生が先頭に立って一生懸命にがんばる姿はこれからの活動が期待でき，とても頼もしかったです。

６年生のみなさん！リーダーやサブリーダーを中心にがんばってください!(^^)!